



Title	平川君ノ一定理ニツイテ
Author(s)	松村, 宗治
Citation	全国紙上数学談話会. 1936, 76, p. 6-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/74255
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

332. 平川君ノ一定理ニツイテ

松村 宗 治 (台北大)

日本数学輯報第十二卷第二号第四十六頁ニ於ケル平川君ノ有益ナル論文ニツイテ考ヘルコトニスル。

今同論文 §3ニ於ケル (1)ノ代リニ

$$(1') \quad b = 2 \frac{((\varphi_2 - \varphi_1)\xi_1)}{(h_1\xi_1) + (h_2\xi_2)}$$

ト置キ同氏ノ論文ヲ一般化シマウト思フ。

但シ h ハ *Compositio Math.* Vol. 1, p. 429ニ於ケル Witt氏論文ニ於ケル記号ヲ採用シタ、尚以下モ同氏論文ヲ用ヒルコトニスルト下ノ様ニナル。

$$(2') \quad b = 2 \frac{p_1 + p_2}{Q_1 K_1^{\frac{1}{4}} + Q_2 K_2^{\frac{1}{4}}}$$

ツマリ平川君ノ (2)ノ代リニ (2')が成立チ $Q=1$ ナル場合ニハ平川君ノ場合ニナル。

尚又

$$\frac{2}{b} = \frac{1}{Q_1 P_1} + \frac{1}{Q_2 P_2}$$

がいへル。つまり b は $Q_1 P_1$ と $Q_2 P_2$ とノ調和中項＝ナル。

コレが平川君ノ上記雜誌第47頁ニ於ケル Theorem 1ニ對應スルモノナル。

又同 Theorem 2モ亦次ノ様ニシテいへル。同氏論文ニ於ケル Theorem 2ニ於ケル $\varphi_1 - \varphi_2$ と $\psi_1 - \psi_2$ とガ平行トイフ代リ＝ $\varphi_1 - \varphi_2$ と $h_1 - h_2$ とガ平行トイフコトヲ置キ直ストヨイ。

但シ其ノ証明デ $\psi_{i,c} = B_i^k \varphi_{i,k}$ ノ代リ＝

$$h_{i,c} = \beta_i^k \varphi_{i,k}$$

ヲ採用セバヨイ。

斯ノ如クシテ 擬似幾何ノ問題ヘ Witt 氏ノ論文ヲ應用シテ一般化シタル場合ガ相當多イト思フ。

拙著論文：台北帝大理農学部紀要第十五卷第百二十八頁ノ定理ヘモ同様ノ適用ガ可能デアロウ。

以上ハ擬似幾何ニツイテノ小注意デアル。